

成果指標				
成果指標	当該年度の農地集積に協力する面積／前年度の農地集積に協力する面積×100			
指標設定の考え方	農地集積に協力する面積を増やすことが事業進捗に繋がることから、当該年度の農地集積に協力する面積と前年度の農地集積に協力する面積を比較することで効果(農地集積に協力する面積の伸び率)を測る。なお、別途事務費については、経常的経費の支出事務のため指標設定は行わないものとする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	-	1.6	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	農地中間管理機構を通して、農地を貸し付けた農業者等に協力金が支払われ、担い手への農地集積を実施するに有効な制度であるため、利用者の啓発を行い、事業推進を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	農地中間管理機構を通して農地を貸付けた農業者等に対し協力金を交付することで、担い手への農地集積・集約を図る事業であり、以って農地中間管理事業(面的集約)の推進にも貢献することから、なお活用者の増加に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題